

研修親睦旅行

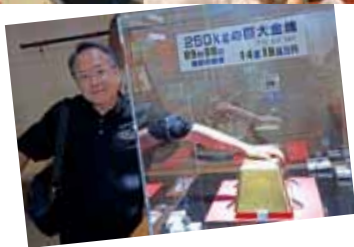
令和元年9月7日(土)～8日(日)

於：伊豆下田

INDEX

研修親睦旅行	1
うすい日出男自伝 第3回	2
会員企業訪問	3
例会委員会報告	4
私の近況	4
スケジュール・編集後記	4

飲めや歌えの大騒ぎを体感した二日間



千葉駅NTT前に集合した今回の伊豆下田の旅。早野親睦委員長の案内でバスは出発。

出発後まもなく木下会長の挨拶で乾杯！ バスの中の宴会が始まった。

揺れるバスは最初の中継地の海ほたるPAに到着。またさらに飲めるようになって東名高速道路を進み、沿津で昼食となった。

昼食後は伊豆半島を南下して下田へ。伊豆半島縦断の長時間ドライブを経て下田に着く。バスを降り、ペリー艦隊来航記念碑前で記念撮影。その後は徒歩で開国博物館にてペリー来航時の歴史風俗を見学する。地方によってさまざまな文化があるんだと思ひ感慨深かった。

再びバスに乗り、今回の宿泊地の南伊豆弓ヶ浜温泉 季一遊に到着。部屋から見渡せる太平洋の海がとても近く、穏やかな気持ちになれる場所でした。早めの到着だったので温泉で汗を流してから大宴会へ。

海の恵みに舌つづみを打ち、皆と飲む美味しいお酒を堪能、歌うは踊るはのカラオケ大会となった。飲めや歌えの大騒ぎをしているうちに夜はふけていった。



2日目は波の音と心地よい朝日で目を覚まし、昨日のお酒が残りつつもホテルを出発し、伊豆半島を北上。やがて土肥金山に到着した。

佐渡金山に次ぐ生産量を誇った金山の観光坑道を見学。

江戸時代の金山を採掘している状況が展示しており、狭い坑道内での作業風景を垣間見られました。

砂金採り体験やギネス記録認定の250kgの巨大金塊にも触ることができ、楽しめる場所でした。

次はさらに伊豆半島を北上し、韮山反射炉に。江戸末期に作られた溶鉱炉で西洋式大砲を鑄造していたとのことでした。資料館と反射炉を見学、台風の影響の雨もあって足早な感じになりました。

昼食をとり、すべての行程を終えて一路千葉へ。西から来る台風に追っかけられながら無事に千葉に着きました。

月星の「よく学び、よく楽しみ、よく飲み」を体感できた2日間でした。

企画していただいた親睦委員会一同と関係者に感謝いたします。
(内藤太幹事長記)



月星会では初めての南伊豆旅行を楽しむ

9月7日 台風15号の心配をしつつ、アクアライン経由で、一路南伊豆下田へ。

ペリー来航記念碑、意外と入り江の美しい下田港でした。「下田開国博物館」19世紀末の日本開国にこの町が果たした役割を紹介されました。

弓ヶ浜海岸。1キロメートルの白浜の海水浴場を眺望出来る「季一遊」の宿泊。期待通りの美味しいお食事と満足の朝食でした。さすが四つ星!!

2日目。土肥金山、葦山反射炉へ。途中、入江長八美術館のトイレに立ち寄り。ここには、幕末に活躍された漆喰鑲絵の名人の作品が展示されているそうです。が、残念ながらトイレ立ち寄りだけ。

世界遺産、国指定史跡の「葦山反射炉」は産業革命の遺産。意外にも里山に建築されたのは海外からの目を逃れるためでもあったということです。

大変楽しい親睦旅行でした。大勢の方にご厚志を賜り御礼申し上げます。ご参加を頂きました皆様ありがとうございました。

(親睦委員会 竹口満代副委員長記)



うすい日出男自伝

第3回

父・臼井荘一のこと・その2

父・荘一のことを書き始めてみると、あれもこれもと書きたい材料が次々に浮かんでくる。全部書いていったら、この紙面の10回分くらいは軽く費やしてしまうので、政治家としての来し方を中心に要点のみ時系列的に記していくことにする。

父は明治35年7月に東京の深川で生まれ、東京府立第三中学校（現在の東京都立両国高校）で学んだのち早稲田大学商学部に進む。大正14年に早大卒業後、私と同じように一時は民間会社（当時のトップメーカー・大日本麦酒）でサラリーマン生活を送っていたが、父親の臼井真三（私にとっては祖父）の病気を機会に退職し、家業のセメント業を継ぐ。以来、映画館や水産業などを自ら興し、しばらくは事業家として手腕を発揮した。

父が政治の世界に初めて足を踏み入れたのは、千葉市議会議員に立候補し、当選を果たした時である。昭和8年、31歳だった。

市議に当選すると、父は事業経営を続けながらも手を抜くことなく議員活動に尽力し、実績を積み上げていった。その活動ぶりを評価されて、市議2期目の昭和17年に議長に就任している。

しかし、父は市議会議員で終わる気持ちはさらさらなかった。この数年前から、いやおそらく市議に当選する前から、父は国政に出ることを決めていたのだと思う。

というのも、当時の中央政界は腐敗し、国政における本来の役割を果たしていなかったからである。人々は混迷と

不安の日々を送っており、5・15事件や2・26事件など歴史に汚点を残す出来事が次々に起こっていた。

父はこの状況に黙ってはいられなかったのであろう。昭和17年、国政の革新を志し、戦時中の混迷が続くなか初めて衆議院議員選挙に立候補した。選挙に当たっては、当時の東条英機首相から推薦の申し入れがあったが、父は「首相の推薦より純粋に国民の信任を求めたい」と、きっぱり断っている。

この結果、選挙は落選したのだが、この間、父が首相の誘いを蹴って続けた政界革新運動は選挙民のみならず、国民の多くに高く評価された。

その後、終戦を迎え、GHQの指令により公職追放を受けたが、昭和27年に解除され、再び衆議院議員選挙に立候補し、初当選する。勝因は前述した革新運動に対する評価だと思うが、まさに「国民の信任を得て」初当選した父を息子としては誇りに思う。

その後、父は誠実、愛情、勇気を政治モットーに文教、運輸、福祉を中心に政治家としての力を尽くしていく。この間、最も政治行動を共にしたのが、やがて総理大臣となった三木武夫氏だった（この項次回もつづく。写真は、三木先生と歓談する父）。



第30回 BS千葉

人間の本性が見える仕事 外国人実習生の受入れサポートも

今回はBS千葉の川野代表、五木田課長にお話を伺いました。

Q 現在の事業について教えてください。

BS千葉としては主に不用品の回収、生前整理・遺品整理の事業をしています。この仕事は儲かってかつ「ありがたい」と言われる仕事でとてもやりがいがあります。個人からの依頼以外に、不動産業者や引っ越し業者からのつながりでお仕事を受けることもあります。

また、3～4年前から、外国人の技能実習生の受入れをサポートする監理組合として「千葉建設業協同組合」を立ち上げました。受入れ企業のニーズを優先しながら、主にフィリピンやベトナムからの実習生の受入れの窓口となっています。

Q 生前整理や遺品整理の事業は、競争が激しい業界のように思いますが、御社はどのような点を強みとしていらっしゃるのでしょうか？

業界全体で年間約1万件の業者の増減があり、その質も様々です。当社としては生前整理により力を入れています。生前整理については、お客様のニーズに丁寧に伝えていくことをモットーにしています。家族との思い出の品など、本人の意思をできる限り尊重し、意思決定をしやすいようお手伝いしています。

最近ではゴミ屋敷の整理や、断捨離のお手伝いをすることもあります。遺品整理の場合はドライに処分されることが多く、せつない気持ちになることもあります。人間の本性が見える仕事でもあります。



Q 外国人の技能実習生の受入れについて、最前線で実習生に接している立場からいかがでしょうか？

外国人実習生が日本でスムーズに仕事をしていくためには、日本人のものの考え方、悩みその中身を教えなければならない。これは一筋縄ではいかないことで、長い年月がかかります。

一方で、経営層の意識として人材を育てようとする意識が必要です。使い倒せればよいという考え方の経営者もまだまだ多いのですが、受け入れ企業側に不正行為等の問題があると監理組合として業務停止になってしまうので、そういう顧客とは私共はお付き合いせず、しっかりとした人材活用をしていただく態勢が整った企業と、お取引をするようにしています。

月星会は優しい人が多い

Q 月星会への入会のきっかけは？ また入会してみたいかでしょうか？

平成27年に月星会に入会しましたが、アットホームで優しい人が多く、運営がしっかりとっていて非常に勉強になっています。自分が行けないときは代理でも行かせたいと思う会です。

Q 今後の事業展開についての展望は？

送り出し機関の出張所を日本に設立し、現地人材のネットワークも広げて、よりマッチングした人材を紹介できるようにしていきたいと考えています。

インタビューの最中もはっきりなしに電話対応をされていらっちゃって、非常にお忙しい中、ここには書ききれない様々なエピソードをお話いただきました。

ありがとうございました！

なお、社名の「BS」は「ベストスポット」の頭文字だそうです。

(取材・文/石原)

例会委員会報告

7月例会 令和元年7月25日(木)

於：鯨割烹みどり

中島例会委員長の友人である渡部喜美子さんをお迎えし、認知症の予防や健康についてのお話を聴きました。

健康寿命を延ばすため、毎日の食生活がどれほど大切なのかを話してくれました。参加人数は24名、フクロウ募金は5,087円でした。



8月例会 令和元年8月22日(木)

於：鯨割烹みどり

レッドブルエアレースの実行委員の方たちに来ていただき、卓話を盛り上げていただきました。

とても楽しく、刺激的な内容で面白く、行政との深い関わりに驚かせられました。参加人数は19名。フクロウ募金3,807円でした。



9月例会 令和元年9月26日(木)

於：鯨割烹みどり

千葉大学名誉教授の北原理雄さんをお迎えし、「パラソルギャラリー in千葉 街に命を吹き込みたい」をテーマに卓話をいただきました。

千葉市を活性化させるという目的意識の中、様々な創作活動をされていて、とても面白かったです。ビジター7名、会員19名が参加しました。(中島美香例会委員長)



私の近況

森本哲郎さんの巻

亡き父の書道作品展をじっくり鑑賞

9月の連休を利用し、実家のある京都に帰省しました。いつもなら家族で行くところ、子供がインフルでダウンしたため、思いがけず2泊3日の一人旅になりました。

帰省の目的は、父の作品展を観に行くことでした。

私の両親は共に書道家です。特に父は、書を本業としてつつ水墨画も描く才のある人で、水墨画に自作の詩を書道作品として合わせる「詩墨画」として発表していました。

14年前に亡くなった父の故郷である、京都府南丹市日吉町の郷土資料館が、「地元出身の作家」として回顧展を開催して下さることになり、それを観覧してきました。

子供のころに見覚えのある作品もあれば、初めて目にするものもあり、改めて亡き父の足跡をたどる思いで作品展を観て、懐かしい日吉の

野道を散策してきました。

またとない機会なので、子供たちにもぜひ見せてやりたかったのですが、一人であったからこそゆっくりと思い出に浸ることもできたので、これもめぐり合わせかなと感じた3日間

でした。



11~1月のスケジュール

11/6(水)	役員会	18時00分開会	ホテル菜の花
11/9(土)	第1回経営研修会	16時	鯨割烹みどり 講師：神渡良平氏
11/28(木)	夕食例会	18時30分開会	鯨割烹みどり 参加費 会員3,000円 ビジター 3,500円
12/4(水)	役員会	18時00分開会	ホテル菜の花
12/19(木)	望年例会	18時30分開会	オペラ歌手によるディナーショー 鯨割烹みどり 参加費 会員3,000円 ビジター 3,500円
1/8(水)	役員会	18時00分開会	ホテル菜の花
1/25(土)	新春の集い		ホテルグリーンタワー幕張 ※詳細は別途ご案内いたします